

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2021年度第8回データベース委員会 議事録

日時:2022年01月19日(水) 19:00~20:10

場所:オンライン会議(Zoom)

出席委員(敬称略):金村(委員長)、岩崎、石井、大鳥、細金、吉井、海渡、山田、今釜、上田、町野、伊藤、有馬、藤田(アドバイザー)、高橋(ファスト)、種市(アドバイザー)、渡辺(アドバイザー)、松山(アドバイザー)

欠席委員(敬称略):筑田(担当理事)、渡邊、波呂(アドバイザー)

陪席(敬称略):渡辺(日本側彎症学会)、中川(JOA 脊椎脊髄病医委員会)、新村(JSSR-DB 事務局)

報告事項

1. 理事会報告 (松山理事長)

順調に進んでいる一方でまだ未登録施設もある。症例登録率を上げるためにどうしたら良いかこの委員会で討論していただきたい。

2. 前回議事録の確認

資料1

3. JSSR-DB 2021 進捗状況

資料2-1, 2-2

1) 2021年度JSSR-DB登録状況のまとめ

- ・登録数 8738件 2021年1月19日時点
- ・登録施設 582施設 2021年1月12日時点
(登録対象機関でない25施設を含む)
- ・未登録施設 548施設 2022年1月12日時点

2021年度登録対象機関 1105施設 (JSSR指導医が在籍する施設)

*手術を行っていない指導医が在籍する施設や診療所・クリニックもあり確認していく

- ・1例のみ登録している施設 → 47施設

4. 登録リマインドとアンケート調査

資料3

- ・対象施設 750施設 (2021年12月27日時点で未登録施設)
- ・回答施設 210施設 (2022年1月17日まで)

A: 現在、脊髄手術は行っていない

20施設

B: 症例登録の締め切りまでに登録	148施設
C: 脊椎脊髄手術は行なっているものの登録する予定はない	10施設
→病院 5施設、クリニック・診療所 5施設	
→病院に関してはどう対応するか検討。	
D: その他	32施設

審議事項

1. JSSR-DB 2021 検討課題

資料4

- 1) . 同一部位での主たる術式・従たる術式の混在
 - 「主たる手術」「従たる手術」はJOANR定義に準ずる
 - JSSR-DB2021では従たる術式の小分類は展開されない。
 - 合併症調査に関しては手術全体の合併症を入力していただく。
- 2) 同一手術で多部位での同じ術式を入力する際の制限
 - 例) 頰椎と腰椎で椎弓切除術をした場合、術式小分類は一つしか展開されていない。
 - 現状より主たる部分を選択していただき対応
 - 対応するシステム改修にかかる費用により対応するかどうかを検討。
- 3) 1つの術式に対して術式小分類が1つしか選べない。
 - 可能性がある小分類を増やしていくか検討する (例) 椎弓形成術(片開き)+ (椎間孔拡大術)
 - 項目数が多くなることも懸念される
- 4) 主たる術式が非固定術、従たる術式が固定術の場合
 例えば脊髄腫瘍摘出術に脊椎後方固定術を行った場合
 1. 主 脊髄腫瘍摘出術 + 従 脊椎再建術
 本来の主目的でJOANR 約ルールに準ずるがJSIS-DBに登録不可
 2. 従 脊髄腫瘍摘出術 + 主 脊椎再建術
 JSIS-DBに登録可だがJOANR、JSSR-DBでの主目的に齟齬
 3. 主 脊髄腫瘍摘出術 + 主 脊椎再建術
 JSIS-DBに登録できますがJOANRのルールに準じず
 →これは現時点では入力者に任せる方針とする
- 5) 「一般的な整形外科手術」から「脊椎DB」への変更・追加
 現行のシステムでは一度「一般的な整形外科手術」で入力したものに対しては「脊椎DB」への変更や追加は不可。
 一旦、入力した「一般的な整形外科手術」を削除の後に、再度新症例として「脊椎DB」の入力が必要
 →システム改修には多額の費用がかかる。

→2022年度は周知されることで誤入力は少なくなると考えられるため、現行のままとする

6. 脳神経外科 (脊髄外科)の手術登録

7. 自費診療での手術登録

2. JSSR-DB 2021新規症例登録締切日

資料5

・現状では1万件を越える見込み

・1万2千件の入力があれば、年間に換算すると14万件

・脊椎手術の母数が20万と考えると、良い登録状況。

・1月31日に登録締切でよいかどうか？

→各地域の委員で徹底的にリマインドを行う（岩崎委員）

→指導医更新や評議員先行に対する条件をつける。期間は少し延長する。（松山アドバイザー）。

→新規症例登録を2週間延期することで決定。

→2022年度の登録は4月1日から開始が良い。（種市アドバイザー）

3. JSSR-DB 2022 検討事項（登録対象施設）

資料6

・2021年度（1105施設）

→JSSR指導医が所属する施設

→指導医が非常勤として脊椎脊髄手術を行っている施設（届出制）

・2022年度

→上記に加えJSSR指導医を目指す医師 施設 → 自己申請制

・脊髄外科医（脳神経外科）の登録希望

→日本整形外科学会会員になっていただく必要がある。（種市アドバイザー）

→病院に整形外科があれば対応が可能。

→希望がある場合は好意的に考えるようにする。

4. JSSR-DB WG 2022 メンバー

資料7

（敬称略）

筑田、金村、山田、吉井、上田、有馬、伊藤、町野、渡辺、中川、新村、種市

次回開催日

メールで日程調整予定。